

# 介護福祉特化で関係人口を増やす取組「Sketter(スケッター)」

## 1 概要

- スケッターは身体介護以外の周辺業務（レクリエーション、清掃、配膳・下善、傾聴など）を依頼したい「介護施設・事業所」と、介護領域に関心がある「地域住民」を**有償ボランティア（スケッター）**として**マッチング**するサービス。お金目的の単発バイトアプリではなく、地域貢献意欲や福祉領域への関心が強いユーザーとマッチングすることで、介護関係人口の増加を目指す。
- 10代からアクティブシニアまで登録者は5200名を超え、周辺業務だけでなく、囲碁・将棋、歌など自分の得意分野をいかして、介護施設・事業所に関わる人も出始めている。
- 業務の棚卸しに不慣れな介護事業者に対して、未経験者でも可能な「業務の切り出し」を提案するなど支援。
- 「スケッター」「介護施設・事業所」の**相互評価機能**により、サイト上でそれぞれの活動を評価し、見える化を通じて、質の向上をはかる仕組みがある。更にスケッター活動後に体験レポートを投稿する機能があり、外部人材の生の声として自社ホームページに掲載し、事業所のブランディング、魅力発信を進め、**採用活動**に生かす事業所例も。
- スケッター経由で直接採用につながるケースもあり、介護施設・事業所の**採用コスト削減効果**も期待される。

## 2 体験機会を増やし施設・事業所のファンを増やす

### 大学など学生の体験を促す取組



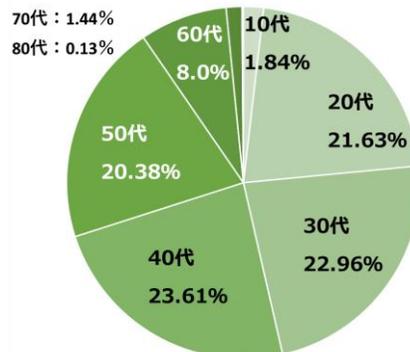
- 大学などのゲストスピーカーとしてスケッターの取組を紹介する「授業連携」が年々増加。
- 学生生活の空き時間に介護現場のお手伝い体験を通じて、**介護現場の理解の促進、魅力・やりがいの体験、就職へのミスマッチ軽減**に貢献。
- 若い人材への介護体験機会を提供。

### ハローワークや福祉人材バンクとの連携

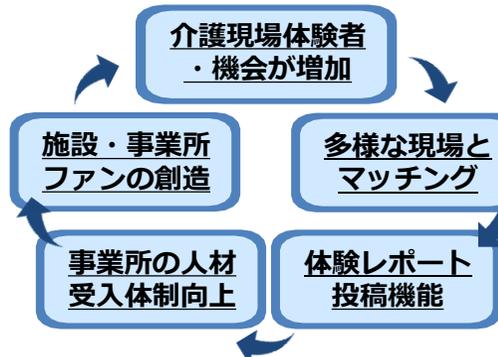


- 福祉就職相談会などでスケッター利用を提案。多様な介護現場の体験機会を提供。
- 有償ボランティアのため、双方にとって一定の緊張感を担保することが可能に。
- 介護の職場体験のハードルを下げて、求職者と介護現場をつなぎ、**就職のミスマッチ予防**につながる取組を展開。

### 利用者の年齢層



### スケッターが生み出す好循環



- 10代からアクティブシニアまで幅広い年代層の登録者5,200名以上 (R6.5)が全国の受入事業所で活動している。
- 職種：学生、異業種、現役介護職員、主婦、アクティブシニア等
- 登録経路：SNS、口コミ、連携先の案内、各種メディア